

素材はいっぱいあるもったいない

まちおこし

プロジェクトチームの立ち上げを

具体的な検討材料が見えてきたら立ち上げる



山口勝士 議員

質問 ホンダ寄居工場スタート！
栃本親水公園開園・槻川再生と地域おこしの新たな展開・細川紙のユネスコ無形文化遺産への登録申請と、このところのうれしいニュース。当町に今起っていること、生み出されつつあるヒント要素を生かし切れていないのではないかと。今こそもう一度多くの力を結集する「プロジェクトチーム」をつくるべきではないか。

答弁 政策推進課長 具体的な検討材料がもう少しはつきりと見えてきた段階で、再度の立ち上げを行いたいと思います。

質問 個々の材料・素材だけでは、力が弱い。どうやってつなげて価値を高め、展開していくかが重要だ。私たち議員もいろいろな提案をして

いるが、進まない。小さなところでも進んでいこうとしている実感がほしい。
答弁 政策推進課長 今、町の活性化のためにクロージングアップされている「川のまるごと再生計画」なども、町の活性化の大きなチャンスと捉えています。県との計画づくり・内容の話し合いができたなら、それを機会にプロジェクトチームの再結成も考えています。

情報発信の積極的展開 動画発信を
質問 町の情報発信など、若手の職員や大学生のアイデアや提案を生かして、実現していく形はできないだろうか。
答弁 政策推進課長 インターネット、とりわけ動画の活用は、音と映像で非常に分かりやすく有効な手段であると考えています。しかし、町ホームページでの動画の掲載は過去1件でした。若年層の方々の協力はどうかあるべきかについても引き続き研究を重ねていきます。



にぎわったオオムラサキの放蝶会（6月30日）

町民みなさんのひろば

わたしのひとこと



安全な歩行者レーン

こばやし みき
腰二 小林美樹



私は、毎日小川町から東松山市まで往復しています。腰越から小川町駅へ向かう県道は、自転車通勤・通学の方たちが車道を走行しています。車道ですから、車は我が物顔で走っています。道幅の狭いこの道路は、車両と自転車はすれすれの状態で、私のほうが冷やりとすることもあります。歩道脇にある家に入るところだけが低くなり、それ以外のところが車道より高く設計されている歩道。歩行者に危険なでこぼこの歩道は、障害物が放置されていることもあります。

先日は、そのでこぼこの歩道を、高齢者の方がカートを押しながら大変そうに歩いていました。歩行者は車道が危険だから歩道を利用するはずなのに、安全なはずの歩道にも危険がいっぱいあります。歩行者・自転車・バイク・自動車、それぞれが安全に通行できる道路に、1日も早くしていただきたいと願っています。若いも若きも、さらに暮らしやすい小川町の構築を願っています。

子どもたちのために残せるもの

ゆざわち え
上横田二 湯澤智恵



東日本大震災時に起こった福島第一原発の事故以来、小川町でも放射能汚染が気になり、回覧に載る検査結果に、家族で一喜一憂することが多くなりました。

そんな中、家の前の田んぼの用水路には、梅雨が明けるときに虫が飛び交います。暗闇の中に浮かび上がる、たくさんの光とカエルの大合唱。何ともいやされる夏のひとときです。私が子どものころには当たり前だった風景が、今ではとても貴重になりました。虫は水のきれいなところにしか生息しないと聞きます。小川町には、まだまだ虫の飛び交うすきな自然が残っているのです。そんな環境の中で生活していることに幸福を感じます。

日本はもとより世界中でも、環境汚染、自然破壊の声を多く聞く昨今ですが、この町に残されている自然は絶対に守り続けていくべきであり、そうしたいと思います。

次の世代を担う子どもたちのためにも。



庁舎前の憩いの場

共施設をはじめ家庭でも促進したい。災害時は地下水の有効性も考えられます。③流域の保水機能の低下が進んでいます。また、下水の整備が進んでいることが一因と考えられます。④県下では広域化が考えられており、実行されるまでは現施設を更新しながら使用します。水を安心して飲んでいただけるように整備していきます。⑤処理施設の更新を進めます。農業集落排水では、施設の改築・改修等を対象にした機能強化

予防接種は
質問 医療に対する考え方について、①1年前に申し上げた『風疹』のこと。②その他の予防接種のこと。
答弁 健康増進課長 ①今議会に、接種費用の一部を町が負担するための補正予算の議案を提出しました。②国の動向を注視していきます。

私たちの町は、水資源をうまく活用していくべきだ

水環境の整備

水資源を当町の宝として守り、活用方法を考えましょう

生活排水処理の整備を進め河川の水質を保全します



島崎隆夫 議員

質問 水に関する施策について①水質向上の研究と施策はどうなっているか ②地下水や雨水の利用を進めるべきではないか ③河川の水質について現状をどう考えるか ④上水道の水質及び施設管理はどのようになっているか ⑤下水に関する施策はどのようになっているか。
答弁 環境保全課長 ①研究はしていません。河川の汚濁は生活雑排水が原因です。処理方法の計画並びに整備を進めています。②雨水利用は、公